



20日(火)、蔵持地区まちの保健室にて、名張市役所地域包括支援センターの保健師・森田有希さんによる「認知症サポーター養成講座」が開催されました。

高齢化が進む中、認知症の方は増加傾向にあります。地域で安心して暮らせるよう、認知症への正しい理解と、身近な支援の輪を広げることが求められています。

今回の講座では、認知症の基礎知識や接し方について学び、参加者一人ひとりが「自分にできる支援」について考える機会となりました。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

23日(金)、蔵持小学校2年生22名が参加して、「バスの乗り方教室」が行われました。

教室では、三重交通の方からバスの乗り方とマナーについて教えてもらいました。出されたクイズには、熱心に話を聞いていたので正しく答えていました。

その後、子ども達はICカードや現金を使って乗車し、バスの中でのマナーをしっかりと守って三重交通伊賀営業所に向かいました。

バスに乗車したまま洗車機をくぐる時、水が勢いよくバスにかけられ、大きなブラシがぐるぐると回転すると子ども達は大きな歓声を上げていました。

最後にバスの修理工場を見学して、蔵持小学校に向かいました。



27日(月)、蔵持小学校4年生31名が参加して名張川河川防災ステーションにて「防災体験学習」を行いました。

名張市維持管理室の方からは防災倉庫に保管されている水害防止の大きな杭や投光器について、蔵持消防団の皆さんからは消防車に備えられている消火用の用具について、それぞれ説明してもらいました。

子ども達は良く話を聞いてノートにメモしていたので、その後出された○×クイズにはほぼ全員が正しく答えていました。

体験学習の毛布を使った担架作りや土のう作りでは、教えてもらった通りに一生懸命取り組んでいました。

防災部長の坪田さん、維持管理室、蔵持消防団の皆さん、ありがとうございました。